

「とくしまブランドギャラリー」の開設について

1. ブランディングの方向性

「お接待＝新しいヒトやモノを受け入れる力」と、
「生産環境と技術に裏打ちされた高品質なプロダクト」を武器に、
「人と人が繋がり、新しい価値を創造する場所『徳島』」

2. ブランドギャラリーの役割

「徳島の人」と「徳島以外の人」が、徳島の食とライフスタイルの本質を共有し、
交流する場

- ・施設に集う人たちの多様性を高め、自ら「徳島」を発見する仕掛け
- ・情報への接触時間と収益性を確保
- ・一貫したコンセプトと常に話題を提供する「面白い場所」
- ・飲食や購買だけでなく「徳島」に触れる体験の提供
- ・利用者間による新たな関係構築から、ツーリズムに繋げる

3. 主な施設の機能

- (1) 飲食(レストラン)
県産食材をふんだんに活用し、徳島ならではの食べ方の提案と演出
- (2) 物販(マルシェ)
レストランで実際に味わい、気に入った商品を購入できるマルシェ
- (3) 宿泊(ゲストハウス)
相部屋を基本、サービスを簡素化した安価なドミトリー形式のゲストハウス
- (4) 交流(イベントスペース)
県や運営管理者等による様々な交流イベント

4. その他の機能(庁内タスクフォース)

- ・トッププロモーションや商談会, 体験型イベント
- ・首都圏在住者向けのワークショップ, 各種セミナー
- ・徳島にゆかりのある方々の交流サロン
- ・「とくしまブランド推進機構」の営業活動の拠点
- ・内装材, 調度品などに県産商品を積極活用

5. 最適な施設モデル

飲食物販	30坪	(席数30席)
宿 泊	250坪	(ドミトリー形式100床+個室)
合計	280坪	

6. 物件選定の考え方

(1) 法規, 耐震等への対応

- ・用途変更手続きを想定し検査済証(図面)のある物件とする
- ・新耐震基準を満たす物件及び耐震基準に則った構造補強等を行った物件とする

(2) 適地の考え方

- ・競合可能性のある個性的な宿泊施設が少なく, 目立ちやすい立地を選定
- ・エリア内のフラッグシップたる施設を目指す(強力な情報発信力に繋げる)

7. 今後の事業の進め方

(1) 平成28年3月中に施設の「基本構想」を策定

(2) 平成28年度事業で以下を一括して公募

- ①適切な物件の探索, 賃借契約に至るまでの手続き
- ②施設改修の設計, 施工(設備の設置含む)
- ③施設の管理運営(県から運営管理者に転貸)